



「皆さんが自分たちの事として、市政を熱く語れたことが良かったです」
(参加者アンケートより)

土岐市をどうする？ 市長と語る会

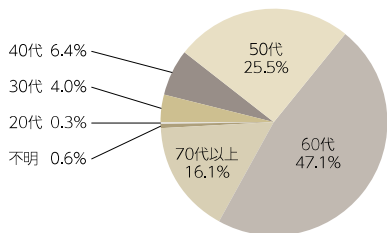
市では、市民の皆さんとの協働による活気あるまちづくりを進めるため、皆さんが日頃市政に対して感じていること、ご意見やご要望などについて、直接市長と対話する「市長と語る会」を開催しました。

各町で開催された会の議事録やアンケート結果は、市ホームページ【[トップページ](#)>市政・施策>市長と語る会】をご覧ください。

■問い合わせ 総合政策課 (内線212)

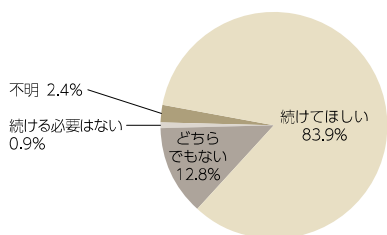


参加者の声 (アンケートより抜粋)

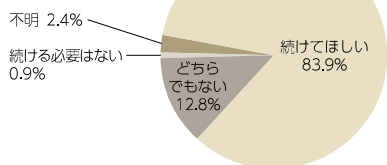


参加者の年齢は？

参加した感想は？



今後も必要ですか？



- 市長が直接説明するので、市政に親近感が増し良かった(50代・男性)
- 財政など難しい問題の話が多すぎた。お金のかからないことで十分なので、希望の持てる話をしてほしい(60代・男性)
- 子育て世代を対象にした語る会を設ければ、もっと多くの意見が出るのでは(30代・女性)
- 偏った意見や個人的な質問でなく、土岐市全体を良くするための意見交換にすべきではないか(70代・男性)
- 要望がかないそうにないから意味がない(70代・男性)
- 市民が土岐市を良くしようと思っているのが質問で分かった。市民の小さな声が市を大きくすると思う(50代・女性)

市長と語る会であったご意見やご質問、意見交換の中から、いくつかをご紹介します。

民間病院は儲かっているところもあるが、総合病院の経営状況は？

民間病院は不採算の部門を避ける傾向にあります。特に救急医療は各診療科の医師も待機することになるため、医師の確保が大変で経費のかかる部門です。総合病院は、救急医療など不採算の部門を設置しているため経営的には不利ですが、地域医療を確保するため今後も直営を堅持する方針です。

最近よく「市民協働」という言葉を耳にするが、市の考え方は？

協働を進めるために最も大切なことは、市民と行政が話し合い、お互いの役割分担などを決めていくことだと考えています。

土岐市では、行政がゴミを収集し、地域の方がゴミ集積所の管理をするという協働が以前から行われています。今後はより多くの方面で、こうした協働によるまちづ

くりを進めていきたいと考えています。

企業誘致について、今後の方針を伺いたい

地盤の強さや交通アクセスの良さを生かし、積極的に企業誘致を進めていきたい。また、立地企業の従業員に、土岐市へ定住してもらえようような取り組みも検討し、人口を増やすことでまちの活気を取り戻していきたい。

語る会で感じたこと

土岐市長 加藤靖也

10月5日から11月2日にかけて、市内8カ所で「市長と語る会」を開催したところ、延べ427人の皆さんにご参加いただきました。本当にありがとうございました。

市長に就任して半年が経ちました。選挙では、私からの一方通行の主張でしたが、今回は、皆さんから市政への思いを伺うことができました。会では、人口の動きや財政など市の現状と、市政に対する考え方を説明申し上げた後、皆さんからの質問やご意見・ご要望に直接お答えしました。その内容は、道路や施設の整備、災害情報の提供のあり方、出産に関することなど多岐にわたり、いずれも皆さんが、地域の課題に高い関心をお持ちなのだ改めて認識しました。ご意見には対応できるものからすぐに対応します。予算や法律、所管などの問題もあり、実現が難しいという回答が多くなってしまうかもしれませんが、真摯に受け止め、今後の市政に反映するよう努めます。

変化の激しい時代だからこそ、私は皆さんとの対話を通じた、協働によるまちづくりを進めていきたいと考えています。

